

発信番号:DNSC- 1445

発信日:2010年3月25日

原稿枚数:1

会員各位

(総経理・所長、駐在員の皆様)

発信:大連日本商工会
運営委員長 鈴木 健夫

在瀋陽日本国総領事館大連出張駐在官事務所より下記のご案内がありましたので、お知らせ致します。

記

開発区での強盗事件(注意喚起)

3月21日、開発区で日本人が強盗の被害に遭いました。事件の概要をお知らせしますので、夜間の一人歩きは避けるなど、以下の防犯対策を心がけて下さい。

【事件概要】

日時:3月21日20時頃

場所:開発区の金元大酒店前の繁華街

概要:日本人が、人気がない路上を歩いていた時、突然金を出せと中国人に脅迫された。用心のため、別に用意していた現金だけを入れた財布(日本円5万円、人民元1,500元)を渡すと、犯人はすぐに逃走した。この日本人にケガはなく、カード類を入れた別の財布は盗まれなかった。

【防犯対策】

○夜間の一人歩きは避ける(夜間の移動は、なるべくタクシーを利用)。やむを得ない場合も、裏通りは避け、明るい人通りの多い場所を選ぶ。

○外国人(日本人)だということを悟られないように注意する。外国人は多額のお金を持ち歩いていると思われやすいので、必要以上に目立たないように、華美な服装や装飾品は避け、周囲に馴染む言動や行動を心がける。

○用心のため、現金だけを入れた財布を別に用意することも、個人情報保護の観点から有益。

○万一、強盗に遭った場合、決して抵抗せずに相手の要求を冷静に聞き、できる限り相手の要求に従うようにする。金品が目的の場合は、相手の要求に素直に従うことで、身体や生命への危害を回避できる可能性が高くなる。

○犯人が去った後、110番通報(公安局通報センター・中国語のみ。24時間体制で通報を受付、各区域で巡回中のパトカーへ指示するシステム)を行い、その後当館(8370-4077)にも連絡する。

以上